

新しい家族を想うクリスマス

立教大学チャプレン 宮崎 光

幼い頃の思い出から

幼い頃、クリスマス・イブの夜空を見上げて、トナカイのそりでサンタクロースが忙しく世界を駆け巡る姿を想像しながら、「ボクが眠ればプレゼントが届く」と心待ちにしたことを思い出します。また、家族そろってイブ礼拝に行く道すがら、父から「地面ばかり見ないで、前を向いて、足をしっかり出すんだ」と、歩き方を教わった言葉を思い出します。ちょっと窮屈な革靴が、“コツコツ”と夜道に響きました。そんな静かで幸せな思い出となるような小さな日常を、子たち、孫たちに、たくさん感じてほしいと願います。特に、2年に及ぶパンデミックで、行きたいところにも行かず、人の温もりや息遣いから距離を置いた「新しい日常」に、否応なしに慣らされてきましたが、ここからでも「新しい思い出」を掴んでほしいのです。今年のクリスマスも「新しい思い出」になると確信して、2千年前の「新しい思い出」を手がかりに黙想いたしましょう。

「マリアはこれらのことをすべて心に留めて、思い巡らしていた。」(ルカによる福音書 2章 19節)

主イエスの母となったマリアは、その身に起こったこと、路傍で出産し「飼い葉桶」に寝かせたこと、野宿する人たち(羊飼い)が訪ねてくれたこと、見知らぬ人たちも居合わせて、終始「不思議」に思われていたこと…、それらすべてを「心に留めて、思い巡らしていた」ようです。マリアは、体験していることをしっかり記憶し、時の経過と共に、それらを思い出しては、熟考を重ねたことでしょう。そしてマリアは、その子イエスが物心つ

いた頃、折に触れて、それらを語り伝えたことでしょう。

私たちは、今、体験していることを「すべて心に留めて、思い巡らして」ゆく、その渦中にあります。それらを繰り返し思い出して、次の世代に語り伝えてゆくための、熟考を重ねる時を歩み出したばかりです。

「博士たちはその星を見て喜びに溢れた。…それから、『ヘロデのところへ帰るな』と夢でお告げがあったので、別の道を通って自分の国へ帰って行った。」(マタイによる福音書 2章 10節、12節)

「博士」は、「占星術の学者」(新共同訳)とも訳されてきました。彼らはメシア誕生を告げる星を見つけて、東方から来た外国人でした。

私は、「占い」を意識するタチですが、ただ、手相や運勢に詳しい友人曰く、「それらは、あなた自身が知っていること」。そこで、結果や診断を踏まえた上で、自分はどの道を往くかの決断が重要となります。博士たちが「喜びに溢れた」場所は、権力者ヘロデの側ではありませんでした。それゆえ彼らは「別の道」を往く決断をしました。「夢でお告げがあった」とは、自己の内面からの意思決定、純粋な良心、正直な心とも思えます。けれども、権力者と「別の道」は、苦難と悲劇を生みます。

「ヘロデは博士たちにだまされたと知って、激しく怒った。…ベツレヘムとその周辺一帯にいる二歳以下の男の子を、一人残らず殺した。」(マタイによる福音書 2章 16節)

主イエスの誕生によって起こってしまった

とも言える悲劇、ヘロデによる幼児大虐殺は、クリスマスの祝祭に深い影を落としします。しかし、これは今も世界が共に祈り続けるべき課題です。弱く小さく、無抵抗の幼い命が、損なわれ、虐待され、殺されている現実を止めなければなりません。

主イエスは、物心ついた頃のいつからか、ご自身が生まれたときのことを知らされたでしょう。そして、自分だけ生き延びていることに、どれほど傷み苦しまれたでしょう。そこから、主はその生涯を、最も小さい人びと、不利益を被っている人、傷んでいる人の側に置き、そこから、「新しい世界」を拓き続けておられます、今も、時空を超えて、永遠の命を通して。

立教学院クリスマス・イブ礼拝 2021

パンデミックにより、世界各地の教会が動画配信による礼拝、祈り、メッセージを提供しています。立教学院チャペルも、去年はクリスマス・イブ礼拝を「9つの朗読とキャロル」による動画として制作・配信しました。その聖書朗読箇所は、英国ケンブリッジのキングス・カレッジで守られてきたものを踏襲しました。しかし、英国各地のイブ礼拝動画では、朗読箇所も自由に選ばれていましたので、立教では、右表のようにイザヤの「預言」から始め、マリアとヨセフそれぞれへの「受胎告知」、羊飼いや博士の登場する「誕生物語」、そして「誕生物語—その後」として、ヘロデによる幼児大虐殺の朗読と、コヴェントリー・キャロルの歌詞によるアンセムが入りました。

さあ、礼拝動画を前に、それが同時刻・同空間ではなかったとしても、地球の裏側の人も、「共にいる」新しい家族として、世界中の皆で祝い、祈る心によってつながりましょう。クリスマスはいつだって、新しい家族、新しいつながり、新しい経験、そして「新しい思い出」です。

立教学院クリスマス・イブ礼拝 2021

第1部<預言> 【諸聖徒礼拝堂】

はじめの光の点火

聖歌 71 「世の成る前より」

第1日課 イザヤ書 40:1-8

アンセム Ich will den Herrn Loben: G. P. Telemann

第2日課 イザヤ書 9:1,5-6, 11:1-6

アンセム Hodie in Bethlehem: Luigi Cervi

第2部<受胎告知> 【諸天使礼拝堂】

第3日課 ルカによる福音書 1:26-33, 38

アドヴェント・キャンドルの点火

聖歌 66 「み使い来たり告げん」

第4日課 マタイによる福音書 1:18-25

オルガン Noël X: Louis Claude Daquin

第3部<誕生物語> 【聖パウロ礼拝堂】

クリスマス・クリブの祈り

第5日課 ルカによる福音書 2:1-7

聖歌 103 「うまやのあかり空を照らし」

第6日課 ルカによる福音書 2:8-16

吹奏楽 91 「荒野の果てに」

第7日課 マタイによる福音書 2:1-12

聖歌 110 「われらは東の」

第4部<誕生物語 - その後> 【諸聖徒礼拝堂】

ハンドベル Carol of Bells

第8日課 マタイによる福音書 2:13-18

アンセム Lully, lulla, lullay: Philip Stopford

第9日課 ヨハネによる福音書 1:1-14

聖歌 104 「世の初めに言があった」

クリスマス・メッセージ

聖歌 81 「神には栄え 地にはおだやか」

クリスマス献金の奉獻

吹奏楽 A Christmas Festival: Leroy Anderson

共同の祈り～主の祈り～特禱～祝福

聖歌 82 「み使いの主なるおおきみ」

オルガン Fantasia on Adeste Fideles: Geoffrey Shaw

「立教学院クリスマス・イブ礼拝 2021」は、12月24日(金) 16時より、立教大学ホームページからYouTube 配信開始です。